

ハナノキ Hananolki



事業団体間の協同化推進のシンボルマークです。

発行◎愛知県労働者福祉協議会

愛知県福祉事業団体情報誌

2019 春号

Spring 2019

No.196



愛知県労働者福祉協議会

戦国期から江戸期に生きた 文武両道の自由人 石川丈山の里



愛知県には魅力ある人・
場所・出来事がまだまだ
いろいろ。そんな愛知の
とくダネを毎号シリーズで
お届けしています。

石川丈山:天正11年(1583年)~寛文12年(1672年)。
安土桃山時代から江戸時代初期にかけての武将、文人。

丈山苑(安城市)

春を意識する頃、誰言うともなく「お花見はどこに?」となる。たいていは誰かがネットなどで探し、由緒正しいお花見・宴会が実現する。それはそれとして毎年楽しく参加はするものの、たまには落ち着いた春の風流を味わいたいな、と友人にもらすと…それなら、と教えられたのがこの丈山苑。ネット検索では「桜」「お花見」でなく「愛知の庭園」でヒットする。江戸期に家康に仕えて武勲をあげ、人生の折り返し点で一転地位も名誉も捨て、漢詩や築庭に打ち込んだ自由人、京都の凹凸窓(おうとつか・通称詩仙堂)で知られる石川丈山。その生誕地がここ安城市・和泉町であることから、この地に丈山苑は作られた。

◆安城に素敵な銘庭園の穴場があった

大正末頃から「日本丁抹(日本のデンマーク)」と称され、農業に力を入れてきた安城市。最近でこそ工場や住宅が増えてきてはいるものの、探検隊が地図をたどって市内を行くと、まだまだあたりにはのどかな農業地帯の風景が広がっている。

現地に着いて駐車場から細い階段を降りていくと、竹林に囲まれた「石川丈山翁邸跡」の石碑と風情のある門がある。最初のその門をくぐり、せせらぎに沿った小径をしばらく行くとお屋敷にたどり着く。

最初の小径を歩いていくあたりから独特的の“和”の空気に包まれる。まわりに広がる田園風景とはひと味違う京都あたりの古くからのお屋敷の雰囲気だ。

お屋敷内の書院の間に入ると、安城市歴史博物館・安城市教育委員会 文化振興課の学芸員、石川貴信さんに迎えられる。石川姓ということは、ひょっとして?…「残念ながら

石川丈山は90歳で亡くなるまで生涯独身を通した人でしたから、たまたま的一致ですよ」と石川さん。

まずは、この施設が現代に伝える石川丈山という人物像について、眺めのいい書院の間の縁側でお話をうかがった。

◆江戸期の文人、石川丈山の生き方

石川丈山は、京都の一乗寺にある詩仙堂で知られる江戸時代の人物。16歳から家康に仕え、幾多の手柄を立てたものの、33歳の大坂夏の陣の時、人生の一大転機を迎える。

当時、危険だからと敵陣への一番乗り争いが禁じられていたのにもかかわらず、その軍令に背いてある種の抜け駆けをしたために謹慎処分の憂き目に。

それを期に、すっぱりと地位も名誉も捨て武士を引退して、妙心寺の僧となって自由気ままな隠遁生活に入る。

一時、母への孝養のため広島藩に仕えたが、その母が亡くなつてからはその職も辞し、

各藩からの仕官の誘いも断つて59歳で洛北一乗寺に詩仙堂を建て、再び隠遁生活に。そこから90年にいたるまで、漢詩、書、築庭などおよそその前半とは間違な人生をたどる。

徳川家康の近習だった頃の血気盛んな丈山の前半生を知る人から見れば、その後半生はまるで仙人。なんとも鮮やかな転身ぶりと映ったことだろう。そんな丈山の生き方は当時の庶民にとても憧れの的だったようだ。

【石川丈山隠遁後の主な功績】

*儒学を藤原惺窓の門に学び、林羅山・堀杏庵と交わり、本阿弥光悦、松花堂昭乗など当時の各界の文化人と交流。

*凹凸窓において中国の詩人36人を選び、狩野探幽にその肖像を描かせ、壁に掲げる(詩仙堂の俗称の由来)。

*書家として、中国の文字の書体である隸書による作品を多く遺した。

*築庭のプランナーとして、詩仙堂の庭園、東本願寺の涉成園(枳殼邸)、田辺の酬恩庵(一休寺)などを造営。



庭園を眺めやる書院の間で、市の学芸員、石川貴信さんからお話を伺う。



枯山水の蓬莱式庭園は、三方を囲む縁側を巡るうち角度により様々な表情を見せる。



奥に風流な四阿を配した池泉回遊式庭園。春には池のほとりはカキツバタの濃い紫で縁取られる。



農業で鳥獣を追い払う鹿威しを築庭で
採り入れたのは丈山が最初と言われる。



丈山苑の庭園の北東隅にある石川丈山翁像

*漢詩詩人として「覆醤(ふしょう)集」、「新編覆醤集」「本朝詩仙注」「詩法正義」など漢詩文集を著す。中でも「覆醤集」にある七言絶句の漢詩「富士山」は有名。丈山苑では詩吟の会がよく開かれるが、詩吟を学ぶ人ならこの作品を知らない人はいない。庭園にその漢詩の石碑がある。

*一説によれば煎茶(文人茶)の開祖とも言われる。

◆庭園の各様式や春の花が見どころ

「丈山苑のある和泉町のこの場所は石川丈山の生誕地。市としては以前から何か丈山の功績を伝えるものをと考えていました。それが、平成元年からはじまった「愛知のふるさとづくり事業」をきっかけに、京都の詩仙堂を模した丈山苑として結実したわけです」(石川)。

今から350余年も前に、90歳まで長生したマルチタレント石川丈山。その足跡を京都にだけでなく、この生誕地安城にもと県や市の予算を投じて新しい文化財としての丈山苑を造営することになった。

ここには、三十六詩仙の額がある「詩仙の間」や丸窓を配した2階の「嘯月楼」など京都にある詩仙堂のエッセンスが多く採り入れられてはいる。しかし、オリジナルと異なるのは、古くからある詩仙堂そのもののレプリカではなく、石川丈山その人の功績を辿るきっ

かけとして作られているところ。例えば庭園は詩仙堂の意匠を取り入れながら、丈山が手がけたいくつかの庭園の意匠をたくみに取り入れている。唐様庭園、回遊式庭園、枯山水庭園と和の庭園の粋をここに見ることができる。回遊式庭園を散策すれば小径のそここに丈山の漢詩の石碑も散見される。その庭では春ともなれば、シダレザクラ、山桜、カキツバタ、キリシマツツジ、ヤマブキなどが花盛り。詩仙の間や書院などのまわりにある縁側でお抹茶をいただきながら過ごすひとときは、時を忘れさせてくれる。

◆安城市民の文化を育む丈山苑

ここは京都の詩仙堂のような観光施設・歴史施設というよりは、むしろ、安城市民のための施設。コンサート、茶会、展覧会、詩吟の会、落語の会、庭園を使っての屋外コンサート、薪能、演劇…等など、市民の多彩な文化交流の場となっている。そこはまさに文人・丈山の後半生の思いにかなっているのではないだろうか。

晩年・望郷の念に駆られたであろう丈山の魂も、生まれ故郷に帰って市民と一緒に詩吟やコンサートや茶会などをおおいに楽しんでいるのかかもしれない。



安城市歴史博物館蔵



地域の茶友会によって開かれるお茶会。
気候の爽やかな春から初夏には野点でのお茶会も。



詩仙の間の障子も外して各部屋一続きにすれば
さまざまなコンサートも可能な大広間。

丈山苑

<http://www.pandp-web.com/jyozan-en>

愛知県安城市和泉町中本郷180番地1

TEL・FAX: 0566-92-7780

●開苑時間／9:00～17:00

(入苑は16:30迄)

●休苑日／毎週月曜日(祝日の場合は開苑)

および年末・年始

●料金

*一般:100円(中学生以下は無料)

*団体(10人以上の場合):80円

※障害者は割引あり

*呈茶一服:300円

*部屋の専用利用(有料)も受け付けます。

●お願い

*飲食・喫煙は決められた場所でご利用ください。

*苑路以外の場所への立ち入りや、ペットを連れての入苑はお断りします。

●交通アクセス

*あんくるバス南部線「和泉丈山苑」下車徒歩5分

*JR安城駅から車で15分

*JR三河安城駅から車で15分

●駐車場(無料) 60台

【丈山苑での春のイベント】

◆春の調べ

～マリンバとサクソフォン～

*日時:4月20日(土)14:00～15:00

岡崎出身の奏者によるサロン・コンサート。

春に因んだ名曲の数々をお楽しみください。

◆丈山苑の歩み(パネル展)

*日時:4月19日(金)～4月21日(日)

09:00～17:00

◆紅緑茶会(野点)

*日時:5月12日(日)10:00～15:00

*協力:安城茶友会 加藤宗裕(宗徳流)

新緑を眺めながらのお茶会。

庭園では野点も。

◆水墨画の世界展

*日時:5月22日(水)～5月26日(日)

09:00～17:00(最終日は15:00まで)

内藤華岳氏(桜華水墨画院会長)の作品
約30点を展示します。

水墨画の奥深い世界をご堪能ください。

◆梶子香る～落語会～

*日時:6月15日(土)18:00～19:30

*出演:立川志の八

*定員:130名(先着順)

*申込:4月24日(水)より09:00～17:00

(休苑日を除く)に電話にて受付

愛知労福協の活動報告

支部だより

東三河支部

退職準備セミナー 豊川会場

2019年2月23日

参加:66名

場所:豊川市民プラザ



豊田支部

豊田市長との懇談会(連合豊田地協合同)

2019年2月18日

参加:40名

場所:豊田市役所南庁舎



みよし市長との懇談会(連合豊田地協合同)

2019年2月28日

参加:24名

場所:みよし市役所6階研修室



海部支部

第14回 退職準備セミナー

2018年12月1日

参加:21名

場所:東海労金津島支店ホール



第14回 退職準備セミナー(東海・半田地区)

2019年2月2日・16日

参加:東海地区41名 / 半田地区44名

場所:東海市勤労センター & 半田市市民交流センター



岡崎・額田支部

第11回 退職準備セミナー

2019年2月2日

参加:80名

場所:岡崎市勤労文化センター



西三河支部

退職準備セミナー

2019年1月20日

参加:172名

場所:安城市民会館



尾張東支部

第36回 尾張東支部ボウリング大会

2019年2月6日

参加:24チーム 94名

場所:東名ボウル



尾張北支部

退職準備セミナー(春日井会場)

2019年1月19日

参加:77名

場所:春日井グリーンパレス



退職準備セミナー(小牧会場)

2019年1月26日

参加:58名

場所:小牧勤労センター



書記・実務担当者研修会

2019年1月24日

参加:41名

場所:名鉄グランドホテル





尾張西支部

文化講演会「サンコンのあふりか物語」

2019年2月5日

参加:71名

場所:岩倉市総合体育文化センター



支部役員研修会

2019年2月8日

参加:16名

場所:三菱電機株稻沢製作所



名古屋南

第11回 家族ボウリング大会

2019年1月27日

参加:91名

場所:名古屋グランドボウル



名古屋中支部

第22回 カラオケ大会

2019年1月21日

参加:57名

場所:名古屋国際ホテル



役員(会員代表者)研修会

2019年2月14日

参加:38名

場所:東海労働金庫本店



名古屋金山支部

第36回 ボウリング大会

2019年2月19日

参加:80名

場所:スポーツ名古屋



名古屋北支部

ハートフルパーティー

2019年1月19日

参加:18組中 4組カップル成立

場所:キャッスルプラザホテル



三事業団体全体会議

2019年2月6日

参加:26名

場所:爽明会館



名古屋東支部

第33回 新春ボウリング大会

2019年1月22日

参加:84名

場所:スポーツ名古屋



名古屋西支部

秋季全体会議研修「2025年問題を考える」

講師:安井 美沙子 氏

2018年11月22日

参加:43名

場所:名鉄会館



会員施設見学会・第1回 三役幹事会

2018年11月30日

参加:14名(三役・幹事)

場所:MR J 工場見学



名古屋ブロック

増田明美 氏 文化講演会

「自分という人生の長距離ランナー」

2019年1月30日

参加:791名

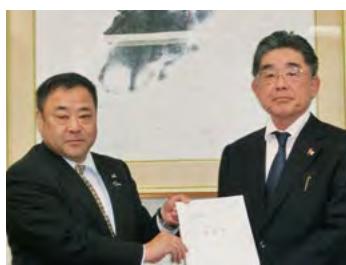
場所:WINKあいち大ホール



福祉事業への支援・協力を求め、愛知県ならびに名古屋市へ「平成31年度要請書」を提出しました。

昨年の12月17日に名古屋市役所、12月25日に愛知県庁を訪問し、平成31年度の労働者福祉活動に対する助成、文化・体育事業の促進、福祉事業に対する活動支援などについて協力を要請しました。今回は中央労福協の方針に則り、奨学金問題や生活困窮者自立支援事業の拡充・強化に関する要請も併せて行いました。

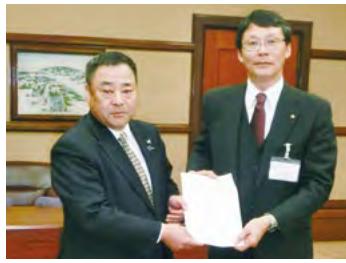
それぞれご対応いただいた愛知県の森岡副知事、名古屋市の堀場副市長へ畠会長より「要請書」を提出し、要請内容の趣旨説明及び意見交換を行いました。



▲愛知県 要請書提出



意見交換



▲名古屋市 要請書提出



意見交換

第35回愛知県労働者美術展

労働者の美術に対する関心を深め、創造意欲の高揚を図ることを目的に、(公財)愛知県労働協会主催、愛知労福協・連合愛知・中日新聞社共催による第35回愛知県労働者美術展が開催されました。日本画20点、洋画43点、書道36点、写真45点合計144点の応募があり、出品作品は1月16日～20日の間、愛知県美術館ギャラリーに展示されました。また、1月20日には表彰式が行なわれ、各部門ごとの優秀作品に対し、愛知県知事賞・愛知県労働協会賞・連合愛知賞・愛知労福協賞はじめ、後援団体の東海労働金庫賞・全労済愛知推進本部賞・労働者福祉基金協会賞などの各賞が各団体代表者より贈呈されました。



労働者美術展表彰式の様子

福祉事業団体の職員を対象に研修会を開催しました。

ろうきん・全労済・福祉基金協会の職員の資質向上と相互の交流を目的に今年も階層別に研修会を開催しました。

若年職員研修会

開催日:2月12日(火)

会場:ワープライフプラザ「れあろ」

参加人数:37名

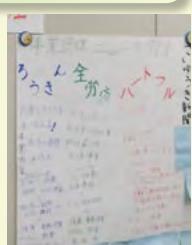
実施内容:外部講師2名

第一部 実践研修「福祉事業団体職員に身についていただきたいこと」

第二部 交流・親睦を兼ねた意見交換会



グループ討議の様子



【課題】壁新聞作成

幹部職員研修会

開催日:3月1日(金)

会場:ワープライフプラザ「れあろ」

参加人数:67名

実施内容:

第一部 講演「悪質クレーム(迷惑行為)アンケート調査結果とガイドライン～UAゼンセンの悪質クレーム対策について～」
講師 UAゼンセン流通部門 事務局長 西尾 多聞 氏

第二部 講演「労働者自主福祉運動の理念・歴史と今日的課題～労働金庫・全労済の誕生と労働組合の関わりを中心に」
講師 中央労福協 講師団講師 高橋 均 氏

第三部 交流・親睦を兼ねた意見交換会



高橋講師



西尾講師



幹部職員研修

中部労福協「第6回代表者会議」が開催されました。

2月4日(月)、びわ湖大津プリンスホテル(滋賀県大津市)において、北陸・近畿・東海ブロック12府県労福協の役員・傍聴者等49名が一堂に会し、中部労福協第6回代表者会議が開催されました。

代表者会議は2年ごとの総会の中間年に開催されており、2018年度経過報告・決算報告および2019年度補強方針(案)・予算(案)について審議が行われ、満場一致で可決承認されました。

中央労福協の活動方針に基づいた労働者福祉運動の推進と各府県労福協との活動交流や意見交換を通じ地域性を活かした福祉の向上に寄与することを確認しました。

総会終了後には、滋賀県生協連 副会長の西山実 氏による、「協同組合の歴史的・社会的使命」をテーマにした記念講演が行われました。



▲滋賀県生協連 西山副会長



▲中部労福協 辻会長



▲中部労福協 第6回 代表者会議



▲中央労福協 花井 事務局長

連合愛知・愛知労福協「助け合い運動支援金合同寄託式」

2月25日に連合愛知と合同の寄託式を行い、愛知労福協からは、福祉事業団体および各支部を中心にご協力いただきました赤い羽根共同募金の寄付金211,447円を愛知県共同募金会へ寄託しました。



▲共同募金寄託式



江蘇省総工会第18次友好訪日代表団が来日されました。

1月23日、徐勇副主席を団長とする江蘇省総工会第18次友好訪日代表団6名が来日され、28日まで国内を視察されました。1月25日には連合愛知・労福協を表敬訪問され、それぞれの組織の活動に関する情報交換や記念品の交換を行い、その後歓迎宴を開催しました。



▲記念品の交換 (徐勇団長と畠会長)



▲第18次友好訪日代表団の表敬訪問

● 受講者募集のお知らせ ●

仕事の達人を目指す～相手に伝わり成果が上がる文章力を学ぶ～

明快！ビジネス文書＆メール作成術

この講座では「相手に伝わり成果が上がる文書力」にねらいを定め、今さら人に聞けない基本マナーからワンランク上の書く技術までを、演習を通して実践的に学びます。

日 時 2019年6月13日(木) 10:00～16:30

場 所 アピタン(全労済愛知推進本部会館)2階大ホール
名古屋市熱田区金山町1-12-7

講 師 (株)ビジネスプラスサポート 人財育成プロデューサー 菓子田 圭子

受講料 8,000円(消費税込)

申し込み・問い合わせ

〒450-0002 名古屋市中村区名駅4-4-38 公益財団法人愛知県労働協会 労働教育グループまで
TEL (052) 485-7154 FAX (052) 583-0585 <http://ailabor.or.jp/bunka/>

2019春季生活闘争1万人総決起集会を開催

連合愛知は、3月3日(日)に久屋広場において「今こそブレイクスルー！すべての労働者の待遇改善と働き方の見直し！」をスローガンに、2019春季生活闘争1万人総決起集会を開催しました。

3月からヤマ場を迎える2019春闘に対する全体の意識向上および要求実現に向け行われたこの集会には、佐々木会長をはじめとする連合愛知、構成組織からの参加者など含め、約1万人の参加がありました。

青年委員会・女性委員会によるシュプレヒコール、各構成組織の旗を掲げた旗手登壇で集会が開始されました。

佐々木会長から「本年の春季生活闘争のポイントは大きく3点です。1点目に『底上げ・底支え、格差の是正に取り組むこと』2点目に『取引の適正化の推進』3点目に『すべての労働者の立場にたった働き方の実現』です。こ



2019春季生活闘争1万人総決起集会

の3点にしっかりと取り組み、結果を出すことが社会から求められています。個々の労使が職場の課題や企業の課題に真摯に向き合い納得のいく回答を導き出す、そして

その結果を社会全体に波及させていく事が重要です。3月13日にヤマ場を迎える組織には、後に続く組織の皆さんにとっての底上げ・底支えの土台となるような取り組みを期待します。」との挨拶がありました。

続いて、4人の代表からの決意表明、河野副会長が「集会アピール」を読み上げ参加者全体の総意で採択しました。

最後に豊田副会長によるガンバロー三唱で春闘勝利への意思固めを行いました。

集会後は、青年委員会・女性委員会が先導役となり、参加者全員で「月例賃金を引き上げるぞ！」「賃金格差をなくすぞ！」「働き方を見直すぞ！」など、名古屋市内でシュプレヒコールを行うとともに、栄メルサ前では街頭宣伝行動を行いました。

同日午後からは、2019春季生活闘争連合「連合愛知 地域フォーラム」をナディアパークにて開催しました。



ガンバロー三唱



2019春季生活闘争
「連合愛知 地域フォーラム」

全国一斉集中労働相談ホットラインを実施

連合愛知は、連合の全国一斉集中労働相談ホットラインに合わせ、2月6日(水)～8日(金)の3日間にわたり労働相談ホットラインを実施しました。

今回は「働きすぎにレッドカード！！～2019年4月から時間外労働に上限規制が導入されます～」をテーマとして実施し、3日間で61件の相談が寄せられ、連合愛知ならびに11地協役員が相談役として、アドバイスや労働契約法の説明など真摯に相談を受けました。



全国一斉集中労働相談ホットライン

また、2月6日からの全国一斉集中労働相談ホットラインの開催に合わせ、栄メルサ前・金山総合駅の他、11地協と連携し愛知県下18力所で街頭宣伝行動およびポスティングを行い、全国一斉集中労働相談ホットラインとともに36協定の締結の重要性について周知をはかりました。

連合愛知は、今後も「労働相談ホットライン(0120-154-052)」において、すべての働く仲間の不安や悩みに応えるとともに、組織化を含めた助言や支援を続けていきます。



街頭宣伝行動

あなたのやさしさが広げる大きな支援の輪 第27回「連合愛知助け合い運動」によるカンパ金寄託式

連合愛知は2月25日(月)、「連合愛知助け合い運動カンパ金寄託式」を行いました。

「連合愛知助け合い運動」は、本年で27回目を迎え、連合愛知構成組織の協力を得て集められたカンパ金を愛知県共同募金会に寄託し、民営小規模施設等の設備費や在宅福祉サービス関連車両整備費、就労支援事業などに役立てています。

冒頭、連合愛知・愛知県労福協を代表し佐々木会長から連合愛知および愛知県労働者福祉協会の取り組みを紹介し、「連合愛知の構成組織と労福協のご協力により、多くのカンパ金が集まりました。このカンパ活動は、地域や社会と繋がっているということを伝える取り組みでもあります。今後も引き続き共同募金会と連携しながら、助け合いの精神を大切にした活動に取り組んでいきます」

と述べられました。

続いて、連合愛知・労福協の寄付金をそれぞれ愛知県共同募金会の岡谷会長に寄託し、愛知県共同募金会からは感謝楯および感謝状の贈呈を受けるとともに、活動に対する理解と協力に対するお礼の言葉を述べられ閉会しました。

今年度の寄託金は3482万7297円となり、1992年から継続している共同募金会に寄託したカンパ金総額は10億4655万9514円となりました。



カンパ金を手渡す連合愛知佐々木会長

フレッシュヤーズの基礎知識

～これだけは知っておきたい～

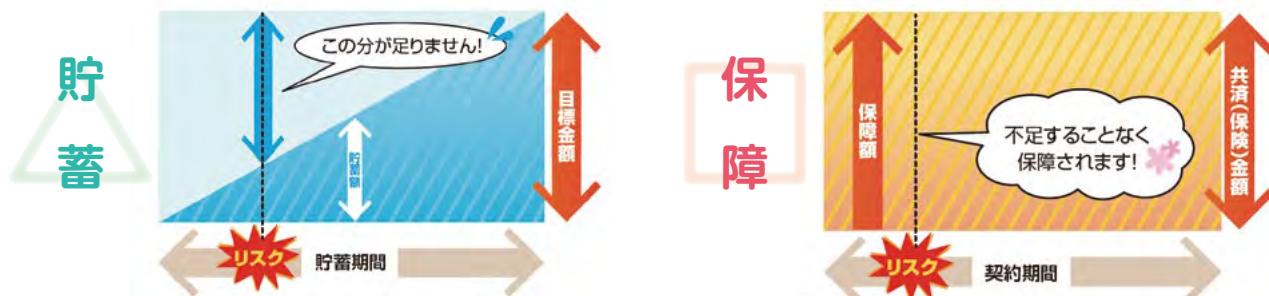


① 保障の考え方



【万一、病気やけがをしたら…】 保障はそんなときに貯蓄だけでは不足する資金をカバーするためのものです。日本には「公的保障」として健康保険や厚生年金保険などの社会保障制度があり、企業や労働組合には退職金や慶弔金などの「企業・団体内保障」や「労働組合の保障」があります。自分で共済(保険)に入る場合はその不足部分を補えばいいので、思っているよりも負担は少ないかもしれません。

② 貯蓄は△(さんかく)、保障(共済・保険)は□(しかく)って?



貯蓄はお金を少しずつ積み立てていくので、年月とともに貯蓄残高は右肩上がりに「三角形」になります。

保障(共済・保険)は共済期間を通して一定の保障額を受け取れます。つまり、安定した「四角形」になります。

③ あなたにも起こりうるリスクとは?

(1) 病気やけがによる入院

入院すると、治療費以外に差額ベッド代や雑費などがかかります。



医療保障 ⇒ 日額3,000円~10,000円

(2) 万一のときの保障

「独身とはいえ備えておきたい」

葬儀費用の平均総額が約196万円。

さらにお墓代や万一の身辺整理に費用がかかります。



生命保障 ⇒ 約500万円

※一般財団法人 日本消費者協会より

(3) 家財の保障

火災による被害を受けるのは、住宅だけではありません。家財も意外に高額な資産です。

住宅保障 ⇒ 約300万円

(ひとり暮らしの家財 ※全労済調べ)



▶▶▶ 保障内容やお見積もりなど、詳しくは全労済までお問い合わせください。◀◀◀

お問い合わせ先

保障のことなら

全労済

全国労働者共済生活協同組合連合会

全労済愛知推進本部 TEL : 052-681-7741

(愛知県労働者共済生活協同組合) (平日9:00~17:00 土・日・祝日・年末年始は除く)

全労済は、営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただいて組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

ハートフルセンターの生活お得意情報

快適に
住まう

ハートフルセンター住宅事業部の家
こだわり

Point1 CPMの導入

CPM(クリティカル・パス・メソッド)とは1950年代アメリカから始まったスケジューリング技法です。簡単にコスト低減を図るために、納期の短縮を徹底する管理手法です。スムーズな工程管理を実現することで、施工業者にしわ寄せを与えることなく、原価の低減を図り、購入者に還元することが可能になります。



Point2 見えないところも、見えるところも

住宅に求められるのは、「間取り」「機能」「デザイン」。耐震や耐久、シックハウスなどの構造部分、また飽きのこないデザイン提案で「内側と外側」両面でお客様にご満足いただきます。



Point3 家をつくる

実際に家を建てる施工業者さんと良好な関係を作り、施工をしていただくことが「低価格でしかも良質」な家をつくる秘訣なのです。



戸建分譲スタート

緑豊かで閑静な住宅街「守山翠松園」

ハートフル会員様限定

物件概要

- 最寄の交通/名鉄瀬戸線「大森・金城学院前」徒歩約14分(1,100m)
- 販売区画/1区画
- 用途地域/第一種低層住居専用地域
- 建ぺい率/40%
- 容積率/60%

敷地面積
196.45m² (59.42坪)



名鉄本線「美合」駅

徒歩圏内の好立地! 再開発が進む蓑川エリア

ハートフル会員様限定

物件概要

- 所在地/岡崎市蓑川町字入メキ10番4(岡崎蓑川南部土地区画整理地内保留地)
- 最寄の交通/名鉄本線「美合」駅 徒歩約18分(1,400m)
- 販売区画/1区画
- 用途地域/第一種低層住居専用地域
- 建ぺい率/60%
- 容積率/200%

敷地面積
132.08m² (39.95坪)



申込先着順!

ハートフル 出会いパーティー



ハートフルセンターが主催する出会いの場をご提供するパーティーです。有名ホテルやレストランを会場に、これまでに数多くのカップルが誕生しています。コンシェルジュが皆様をサポートいたしますので、初めての方でも安心してご参加いただけます。

全日程共通
※一部除く

会費 男性 6,000円
女性 4,000円



受付時間 13:30~13:50

人数 男性・女性(ともに独身の方)各18名

※男性は労働組合のある企業勤務の方

開催時間 14:00~16:30

5/18
土

名鉄トヨタホテル

男性 30~43歳くらい
(男性は豊田地区的労働組合のある企業勤務の方)
女性 28~40歳くらい
※男性は労福協豊田支部にて募集します。
※女性のみ募集となります。

参加条件

6/29
土

ホテルアソシア豊橋

男性 7,000円 女性 3,000円
男性・女性とも 30~43歳くらい
(男性は東三河の労働組合のある企業勤務の方)
※男性は労福協東三河支部にて募集します。
※女性のみ募集となります。

参加条件

5/26
日

東京第一ホテル錦

男性・女性とも
32歳~47歳くらい

参加条件

6/8
土

名古屋東急ホテル

男性・女性とも
28歳~43歳くらい

参加条件

7/13
土

キャッスルプラザ

男性・女性とも
30~40歳くらい
(男性は名古屋市南部の労働組合のある企業勤務の方)
※男性は労福協名古屋南支部にて募集します。
※女性のみ募集となります。

参加条件

2019
年度

ハートフルカード会員を募集中!

- 年会費 1,000円
※全員一括加入団体は800円
- カード有効期限 2019年4月1日~2020年3月31日
- 申込先 所属団体(労働組合)窓口へ

※ご加入いただいた方には、ハートフルカードとガイドブックをお届けします。

ハートフルカード会員特典

提携飲食店などで

20%~10%割引

(東海地区約2,600の提携施設)

- 健康・育児・介護無料相談ダイヤル
- 旅行・宿泊割引
- チケット予約など

その他



▲新年度ハートフルカード

あなたの「安心・快適・充実ライフ」をサポート

(一財)愛知県労働者福祉基金協会
ハートフルセンター
<http://www.heartfulcenter.jp/>

〒456-0002 名古屋市熱田区金山町一丁目14番18号

平日 9:00~17:00 年末年始を除く

住宅事業部 0120-682-851
ハートフル事業部 0120-101-810



当事者自らの手で切り拓く新しい未来 特定非営利活動法人 のわみ相談所・のわみサポートセンター

(一般社団法人 インクルーシブのわみ)

バブル経済破綻の頃、県下初のホームレス専用のシェルターが作られた。しかしそれは外部のボランティアが助けるカタチでの救済策ではない。80人ほどのホームレスの当事者自らが力を合わせて古いプレハブを改築し、そこを拠点として新しい暮らしを目指したもの。それがホームレス自立支援法が施行される2年も前のことだった。

◆ある春日のホームレスとの出会いから
「職を辞して図書館通いをしていた頃、お花見で賑わう平和公園のベンチで寝ていた1人のホームレスを助けたのが最初でした」。三輪憲功代表執行役は、困窮者支援の活動を始める最初のきっかけからお話し始めた。

その後、三輪さんは平和公園の茂みなどにいた80名ほどの野宿生活者に働きかける。そして、知人から使わなくなった小屋を借り受け、生活の基盤として提供した。すると、その人たちは、屋根のある部屋で寝られるのを励みに、自らが改築して自立・自活し始めるまでに変わっていった。その時からのメンバーでは今の「のわみ」の理事や多彩な事業のリーダーなどを務める方までいる。

「お金や食料の支援だけでなく、生きる意欲や仕事の機会や健康面でのサポートなど、当事者自身の希望に沿った複合的な支援の持続が大事だったんですね」(三輪)。

◆ホームレスの定義が大きく変わった

かつてはホームレス=野宿生活者という図式ではあった。しかし、ここ最近「ホームレス」の意味自体が大きく変化している。

「行政の定義はいまだに“野外生活者”的のまま。でも実際には、インターネット喫茶などで暮らす派遣労働者、DVを受けて自分の家にいられない人、突然のリストラで生活基盤を失った家族、引き

こもりで自分の部屋にしか居場所のない人、過去に過ちを犯した刑余者、アルコールやギャンブル依存の人、外国人の困窮者…等など広義の“ホームレス層”が増えているんです」(三輪)。

◆当事者組織「救生の会」からの拡がり

「そうした人の自立を支援できるのは、やはり自身が深刻な“ホームレス”状態を経験し、そこから自立してきた人。なにしろ身をもってその苦労を知っていますからね。

のわみでは、自立を果たした人と自立途上の人との接点としての当事者組織『救生の会』を全活動の中心においています。

そこでは、体験談が話されたり、医師や福祉関係者と連携したり、新事業を画策したりと、前向きなビジョンの中に居場所や生きがいが見つかるんです」(三輪)。

その成果は着実に伸びている。初期のプレハブ小屋での自立体験はその後も繋がっていき、なんと、2007年には13%だった自立率が2017年には78%にもなっている。

今、のわみでは世界規模の困窮者救済専門の金融組織「グラミン」と提携し、生活困窮者支援基金を作ろうと計画中だ。

三輪さんは「まだまだのわみにはやるべきことはいっぱいありますから」と、この日訪れていた相談者との面談に赴かれた。

東海ろうきんの
NPO寄付システムが
応援しています。



のわみ相談所の代表執行役、三輪憲功さん。
一宮の事務所には毎日のように相談者が訪れる。

■特定非営利活動法人 のわみ相談所・のわみサポートセンター

(一般社団法人 インクルーシブのわみ)

〒491-0869 愛知県一宮市向山町1-10-4

TEL. 0586-72-9697

FAX. 0586-72-9698

H.P. <https://nowami.jimdofree.com/>

MAIL. nowami38@yahoo.co.jp

【継続事業】

- *男女別シェルター運営事業
- *フードバンク・フードドライブ事業
- *ホームレス・生活困窮者の生活支援
- *外国人・DV被害者・ひきこもり支援
- *就職困難者の就労支援
- *便利屋・リサイクル・食堂運営事業
- *共同墓地・位牌堂の運営
- *良心的大さんとの居住支援事業

【2019年度の新事業】

- *トライアゲイン(刑余者支援事業)
- *女子シェルターの20室の増設
- *地域共同基金の新設
- *グラミン日本との連携

《寄付のお願い》

東海ろうきん NPO 寄付システム

- *毎月一口 100円以上で100円単位。
- *お決め頂いた一定金額をあなたの東海ろうきん 普通預金口座より毎月自動で振込みます。
- *振込み手数料は不要です。

○お問い合わせ先

東海労働金庫一宮支店

一宮市猿海道一丁目1番14号

TEL. 0120-690-135



障害者自立支援法に基づく地域支援活動センターのわみ。これもわみの事業のひとつ。



いろいろな境遇の子どもたちがいる子供食堂と無料塾。食堂を運営するのもと生活困窮者で調理人だった人。



「のわみ相談所」の前にて。信頼のおけるスタッフの皆さんと。かつて苦労された方も今はのわみの事業リーダーとして活躍されている。



向山町にあるのわみ相談所の拠点3棟。中央の建物の1階部分にフードバンクがある。



賞味期限の近づいた食料などを現物寄付として譲り受けけるフードバンク。大型の冷凍庫も完備している。



「救生の会」では、当事者どうしの勉強会のなかから生活支援の各種事業が生まれる。刑余者支援の「トライアゲイン」事業もそのひとつだ。